

コロナ医療の最前線

あいち小児保健医療総合センター

(愛知県大府市)

コロナ対策は、子どもたちファーストで!



予断を許さない状況が続く新型コロナウイルス。もし、辛い状況をうまく伝えられない子どもが感染してしまったら...? 今回は、日本小児感染症学会認定暫定指導医である伊藤健太先生に、矢野きよ実さんがお話を聞きました。

療養環境を重視した病院らしくない病院

矢野 こちらの「あいち小児保健医療総合センター」は、外観も内装もかわいらしい造りですね。

伊藤 子どもが主役の病院ですから、院外学級やこども図書館も整っています。子どもは病気になっても発達を続けるので、そのバックアップに特化することが小児科専門医として大切。「治療を頑張ろう」と思ってもらうことを目標にしています。

矢野 息子が5歳の時に熱を出し、初診では原因がわからずに対応が遅れ、その後50日ほど小児病棟に入院したことがあります。息子の辛さを思い、自分の行動を悔やんで泣きました。保護者用のベッドがなく、イスで眠った日々は忘れられません。

すから、子どもの専門病院と小児科の先生方の存在には感謝の思いでいっぱいです。

伊藤 ありがとうございます。ただ、我々も第一段階の診察をしてくれている、かかりつけ医の先生方に支えられています。一丸となって子どもたちを守っている気持ちです。

子どもたちに つらい思い強いコロナ

矢野 子どもを取り巻くコロナの状況はどうですか。

伊藤 一般の病院は大人の患者から病床が埋まるため、本来近所での入院できたはずの子どもが、名古屋や三河エリアから運ばれて来たり、保護者も感染したため子どもだけの入院になったケースも数多くあります。また、ひとり親家庭の親が重症化で

入院し、濃厚接触者の子どもが一人きりになり、児童相談所を経由して当院で預かるケースもありました。子どもたちに最善の医療と安心感を届けることが僕たちの使命ですが、元気な子までも入院しなければならないのは、果たして良いのかどうか当院も自問自答していました。

矢野 その状況を聞くと、何としても感染を止めなければと思います。

伊藤 国内では「重症化しない子どもに打つ必要があるのか」という意見が小児科医からも出ていますが、当院は実際に重症化した子ども診ているので、重症化を防ぐという意味で打つ選択肢もあるのでは。それに入院に伴う「リスク」もあります。まだデータはないのですが、コロナにかかった子どもたちのトラウマも考えられるので、不安を解消できるのであれば効果があるかもしれません。



学会発表時のフアンシーン

伊藤 これは全体で見ると数が少ない事例ですが、小児専門病院に期待される役割のひとつだと思います。

子どもたちの重症化と心の傷をワクチンで予防できるのでは

矢野 「子どもはワクチンを打たなくてもいい」という話も聞きます。

伊藤 国内では「重症化しない子どもに打つ必要があるのか」という意見が小児科医からも出ていますが、当院は実際に重症化した子ども診ているので、重症化を防ぐという意味で打つ選択肢もあるのでは。それに入院に伴う「リスク」もあります。まだデータはないのですが、コロナにかかった子どもたちのトラウマも考えられるので、不安を解消できるのであれば効果があるかもしれません。

矢野 大人でもコロナでの心の傷が

癒えない知人がいます。子どもが心に傷を負うくらいなら、私はワクチンを選びます。

伊藤 現時点では子どものワクチン接種による後遺症や周囲への感染の抑制力、一方でコロナにかかった子どもの長期的な後遺症もわかっていません。ですから当然、本人やご家族の考えを尊重すべきだと思います。

伊藤 本来、予防接種に関するコミュニ



きよ実さんの書からは、あたたかな想いが伝わってきます

ケーションは、コロナに限らず難しいもの。イデオロギー(思想)が乗ると話がどうしてもブレてしまいがちです。僕が気をつけているのは、科学的に検証されたデータと、できるだけわかりやすい数字を用いて効果もデメリットも同じように伝えること。「先生のお子さんだったらどうしますか」と聞かれますが「僕だったら色々なことを天秤にかけた上で自分の子どもにはワクチンを打ちます」とお話ししています。

子どもの目線に立って、「何がいいのか」次の議論へ

矢野 先生のお話をお聞きすると、やはり子どももワクチンを接種した方がいいのではないかと思います。

伊藤 外来時にも今日と同じぐらい、お話しできればいいのですが...

矢野 このままでは子どもたちの成長にも影響がありそうです。

伊藤 マスクの下の相手の表情もわからずに子どもたちが過ごすのは、良くありません。すでにヨーロッパの一部の国では「コロナのリスクも担保するけれど、顔が見える世の中にするのも大事だ」という風潮もみられます。国内も3回目接種が終わり、感染リスクが下がってきたら、次の議論に進めるのでは。子どものコロ

ナは軽症ですし、今後、画期的な薬や治療が出てくるわけではないと思いますから、それよりも「子どもの目線に立って欲しい」というのが、僕たち小児科医全ての願いです。

矢野 子どもたちのことを考え、ここまで本音で話すのが伊藤先生の凄いいところ。「コロナにかかったら」という対応だけではなく、成長する子

聞き手

矢野 きよ実さん

パーソナリティ・書家
名古屋市生まれ。15歳でモデルデビュー後、テレビやラジオなど活躍の場を広げている。17歳で始めた書で表現する独特の世界観が注目を集め、数多くの賞を受賞。現在、医療・災害、教育現場、福祉などの分野からの講演依頼に「生きること」「命の大切さ」を伝えている。名古屋小児がん基金特別顧問/愛知万博記念災害・救急医療研究会理事/名古屋観光文化交流特命大使/障害者と市民のつどい実行委員会 名誉実行委員長/玄玄書作院常任理事 他

矢野 きよ実 オフィシャルサイト

Power of Medicine

も心の身に向き合う先生と、小児専門の医療機関が愛知にあるなんて、素晴らしいですね。今日はありがとうございました!

※撮影時のみマスクを外しています ※本誌では正式名称にこだわらず「コロナ」という表現をしています

インタビューのフルバージョンはこちら

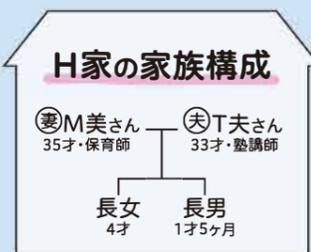
答えのドクター
伊藤 健太 先生
あいち小児保健医療総合センター 総合診療科 医長
名古屋出身、2007年鹿児島大学医学部卒。名古屋第二赤十字病院研修医修了後、2012年より感染症診療に従事。国立成育医療研究センター感染症科、東京都立小児総合医療センター感染症科を経て、2016年4月より現職。小児科の入院原因の大半を占める感染症診療を専門とする。2022年より、日本小児感染症学会ガイドライン作成委員会作成委員。日本小児科学会認定小児科指導医/日本小児感染症学会認定暫定指導医/日本小児感染症学会認定医 他

あいち小児保健総合医療センター-HP

編集部が独自取材!

2児のママに自宅療養体験を聞きました

“まさか我が家にコロナが!” 心構えの大切さを痛感



- 1日目 妻・M美さん発熱(39度)
5日目 娘発熱(38度)
6日目 M美さん熱下がる
夕方、娘の熱下がる
夫が発熱(40度近く)
7日目 M美さんが家事をこなす
一徐々に回復
17日目 外出解禁

家庭内感染を防ぐのは至難の業! H家では妻のM美さんが最初に発症。夫に家事育児を任せ、部屋で隔離生活をしていましたが「娘が私を探して泣いて泣いて...。仕方なく何度か抱っこしてなだめました」。自分の洗濯とごみ捨ては、皆が寝静まった夜にしていたそう。M美さんの熱は3日後に下がりはじ

め、ホッとしたのもつかの間、夫と娘が陽性に。今度は治りきっていないM美さんが一人で家事育児。「しんどかったですね...夫は3日ほど寝込みましたが、娘は発症2日目の夕方には平熱に。頓服薬も必要なく回復しました。1歳の息子にうつらずに済んだのは幸いです」。M美さんの発症から2週間。「こんな

に長い間家族一緒にいることはないで、子どもたちは嬉しかったみたいです(笑)」。M美さんは「まさか我が家が」と思ったそう。もしもの時、食料の確保だけでなく、子どもたちの預け先などシミュレーションしておくことも大切だと痛感した、とのことでした。

Q1. のどの痛みなどの症状は?

発熱時は違和感がなかったのですが、解熱後から1週間ほど咳が止まらなくなりました。夫と娘は鼻水がひどかったのですが、いずれも一週間ほどで回復しました。

Q2. 療養中の食事は?

ネットスーパーやUberを利用。ただ熱が高いときはネット検索もつらく、届くまでの時間が長く感じます。数日分の食料ストックは必須。我が家は離乳食が役立ちました。

Q3. あって便利だったものは?

災害用備蓄の紙皿、紙コップ、使い捨てのビニール手袋が便利でした。消毒用アルコールは2個以上あると隔離部屋と分けて使えます。



Organ House
~音のシャワーで心リフレッシュ~
オルガン・アワー
名曲を詰め込んだ1時間のコンサートを週末に
2022 6/24 fri. 15:00
愛知県芸術劇場コンサートホール
(愛知芸術文化センター4階)